

## ◎東アジアコース修士課程（経済学研究科）の修了要件

- 経済学研究科では既存の国際プログラムである東アジア持続的経済発展研究プログラム（東アジアコース）をスーパーグローバルコースと読み替える。
- Basic (Core) Subjects から 12 単位以上（必修 2 単位を含む）、Advanced Subjects A から 10 単位以上、修士論文の研究指導 8 単位、計 30 単位以上の取得と、修士論文の提出・合格が同コースの修了要件。
- Advanced Subjects A には、①12 単位を超える Basic (Core) Subjects の取得単位、②経済学研究科の一般コースで提供されている科目の取得単位、③他研究科で提供されている科目の取得単位、④交流協定校で提供されている科目の取得単位を含めても良いが、指導教員の承諾（つまり、修士論文研究との関連性を説明できること）が必要。
- すでに一定数の科目が交流協定校等から招聘した特任教授等によって提供されており、また、交流協定校等との合同ワークショップや海外フィールド調査を単位科目化している。多くのコース学生がこれらの科目を履修している一方で、とくに招聘教員による提供科目の多くはモジュール 1 とモジュール 2 に集中していることから、コース修了要件として別途枠を設けないが、コース学生には単位取得を強く推奨する。
- 一般コースと同一専攻であるため、東アジアコースとして独自の修了証が発行されていないため、スーパーグローバルコースとして総長名で修了証を発行する機会を利用して、これを東アジアコース修了証と融合させる。

## ◎東アジアコース博士後期課程（経済学研究科）の修了要件

- 経済学研究科では既存の国際プログラムである東アジア持続的経済発展研究プログラム（東アジアコース）をスーパーグローバルコースと読み替える。
- Advanced Subjects A と Advanced Subjects B から 8 単位以上（うち Advanced Subjects B から 2 単位以上）、博士論文の研究指導 16 単位（正副指導教員からそれぞれ 8 単位）、計 24 単位以上の取得と、博士論文の提出・合格が同コースの修了要件。
- Advanced Subjects A には、①経済学研究科の一般コースで提供されている専門科目の取得単位、②他研究科で提供されている科目の取得単位、③交流協定校で提供されている科目の取得単位を含めても良いが、指導教員の承諾（つまり、博士論文研究との関連性を説明できること）が必要。
- すでに一定数の科目が交流協定校等から招聘した特任教授等によって提供されており、また、交流協定校等との合同ワークショップや海外フィールド調査を単位科目化している。多くのコース学生がこれらの科目を履修している一方で、とくに招聘教員による提供科目の多くはモジュール 1 とモジュール 2 に集中していることから、コース修了要件として具体的に明記しないが、コース学生には単位取得を強く推奨する。
- すでにモジュール 1 とモジュール 2 では交流協定校等から招聘した特任教授によって共同論文指導が行われている。他のモジュールではその限りではないため、同コースの修了要件として具体的に明記しないが、コース学生には交流協定校等への留学ならびに留学先等で研究指導を受けることを強く推奨する。
- 一般コースと同一専攻であるため、東アジアコースとして独自の修了証が発行されていないため、スーパーグローバルコースとして総長名で修了証を発行する機会を利用して、これを東アジアコース修了証と融合させる。

## ◎スーパーグローバルコース・ジョイント・サーティフィケート（経済：東アジアコース博士後期課程・モジュール 1 = Wageningen University）の要件 ※調整中

- Obtaining minimum 8-12 ETC from participating in PhD training courses offered by WASS (equivalent to 4 Japanese credits -- can be included in the minimum 8 Japanese credits that need to be obtained from our Advanced courses); presenting at least two papers at international scientific conferences; completing a thesis under joint supervision; and presenting a thesis at a joint workshop (kind of mock-defence) either in Kyoto or Wageningen

- In a similar way, requirements for WUR students include: obtaining minimum 8-12 ETC from participating in PhD training courses offered by KU (international programme for East Asia sustainable economic development, or Asian Platform for Global Sustainability and Transcultural Studies; the latter includes courses offered by Graduate School of Agriculture and Graduate School of Letters); etc.

◎スーパーグローバルコース（人文社会科学系：一般コース修士課程）の修了要件

- 経済学研究科・一般コース、文学研究科・全専修、農学研究科・生物資源経済学専攻の大学院生を対象に、これら3研究科で提供されている英語科目（経済：EAC、文：CATS、農：G30）のうち6～8単位以上（文はCATSのコア科目 Introduction to Transcultural Studies を必修）を取得し、TOEFL-iBT もしくは IELTS のスコアが一定条件を満たしていること。
  - TOEFL-iBT=86 点以上、IELTS=6.5 以上 ※調整中
  - 参考：Wageningen 大学への修士留学要件=TOEFL-iBT 92 点以上（うち Speaking で 23 点以上）、IELTS 6.5 以上（うち Speaking で 6.0 以上）

◎スーパーグローバルコース（経済学研究科：一般コース博士後期課程）の修了要件

- 経済学研究科・一般コースの大学院生を対象に、これら3研究科で提供されている英語科目（東アジアコース開講科目）のうち6単位以上を取得し、TOEFL-iBT もしくは IELTS のスコアが一定条件を満たしていること。 ※文学研究科と農学研究科は博士後期課程が単位制ではないため別途定める。
  - TOEFL-iBT=94 点以上、IELTS=7.0 以上 ※調整中
- 交流協定校等で通算3ヶ月以上（受入先を拠点とするフィールド調査期間を含む）にわたって博士学位論文に係る研究を行ったこと。
- 国際学会・ワークショップで2回以上の論文発表を行ったこと。

◎グローバルコース（経済学部）の修了要件 ※未承認。設置を提案する予定。

- 経済学部は経済学・経営学およびそれらの隣接領域で出現する先端的な専門分野に対して領域横断的な学習ができるよう、現在は経済経営学科1学科で構成されるが、その中でも学習の専門性を高めることを誘導するために、科目を理論・歴史コース、政策コース、マネジメントコース、ファイナンス・会計コースの4コースに体系化し、それぞれのコースの専門科目Ⅰ・専門科目Ⅱのうち、18科目以上の科目を履修し、かつ履修した科目のうち9科目で「優」の成績を修めた学生について、卒業時に当該コースの修了認定を行っている。
- これにグローバルコースを新たに加え、①国際高等教育院で開講されている英語提供科目のうち人文社会科学系7科目以上（法・政治・経済系4科目以上）および英語提供の経済英語 or 外国文献研究（経・英）1科目以上、②経済学部の国際化支援科目（4科目、うち2科目は東アジアコース学部共通科目）、英語による東アジア経済論ワークショップ（1科目、特殊講義）、東アジアコース学部共通科目（国際化支援科目に該当する2科目を除く2科目、特殊講義）のうち4科目以上を履修し、③履修した科目のうち6科目以上で「優」or「A、A+」の成績を修めていること、④1学期以上にわたり交流協定校に交換留学して単位互換科目6単位（換算後）を取得し、さらに⑤TOEFL-iBT もしくは IELTS のスコアが一定条件を満たしていることを条件に、卒業時に当該コースの修了認定を行う。
  - TOEFL-iBT=80 点以上、IELTS=6.0 以上 ※調整中
  - 参考：Wageningen 大学への学部留学要件=TOEFL-iBT 80 点以上（うち Speaking で 20 点以上）、IELTS 6.0 以上（うち Speaking で 6.0 以上）